

第六十二回

熊本城（熊本県熊本市）

「櫓」主宰 江崎 紀和子 選

熊本市賞

帰路までも駆けゆく吾子よ春風よ

熊本県八代市 森崎 恵司

特選三句

海地獄春の青空濃く映し

茨城県水戸市 森田 智子

雨止んで花見るのたりのたりかな

熊本県熊本市 角田 光明

春の空城と水とがきらめけり

福岡県飯塚市 太田 雄斗

投句総数 二十六句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

奈良・斑鳩町賞

梅の香のあとに水の香二月堂

奈良県天理市 松田 吉上

特選三句

八角の夢殿に差す新樹光

三重県伊勢市 松本 愛子

大和路は黄砂ぐもりの山に山

大阪府泉南市 野口 一美

神さぶる三室の山の桜東風

奈良県生駒郡斑鳩町 田中 みどり

投句総数 七十九句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

子規庵（東京都台東区）

「櫟」主宰

江崎

紀和子

選

特選三句

漱石は子規を訪ねて枇杷ふたつ

東京都葛飾区

目黒

琴音

文机に向ふ立膝春をしむ

兵庫県神戸市

蔵田

ひろし

くり抜きし机に子規の春の風

兵庫県姫路市

大塚

輝彦

投句総数 三十六句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

子規はいく賞三句

春蘭やレールの先に明治あり

愛知県名古屋市 平野 祥生

明治村来れば鳴くなりほととぎす

愛知県津島市 浜島 はる

石柱に明治の気概風光る

愛知県名古屋市 伊藤 実和

特選三句

幾千の四角帝国ホテルの春

愛知県名古屋市 原 愛樹

啓蟄や日差せば匂ふ森の径

千葉県柏市 鎌田 俊

鶯の声に魅せられ村歩き

岐阜県各務原市 大野 多美子

投句総数 八十句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

東郷の立った所の風光る

静岡県伊豆市 山下 昇平

軍港の通りの隅の桜かな

東京都杉並区 南 忠志

春の風三笠の艦に鳩遊ぶ

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

投句総数 七十六句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

ふんわりと猫のあくびが春告げる

広島県呉市 三宅 真美

ヒロシマで鶴折る子の背に春光

岐阜県大垣市 可知 いづみ

戦場の夢を見継ぐや冬青空

島根県松江市 伊藤 ゆい

投句総数 二十三句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

文豪の跡を辿りて春霞

千葉県千葉市 長谷川 充

升てふ若き名を訪ふ子規忌かな

東京都杉並区 齋藤 満月

春日和猫のあくびと漱石と

東京都練馬区 阿部 央幸

投句総数 二十九句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

しようにすけもをどりだすなりたきぎざくら

東京都国分寺市 宮下 卓也

鶴ヶ城桜の開花を松と待つ

神奈川県藤沢市 竹本 遥

城壁を彩る桜鶴ヶ城

新潟県新潟市 荒木 アキ子

投句総数 十八句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

東松山市（埼玉県東松山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

靄曇富士見えぬ空の遠さよ

埼玉県川越市 渡邊 美智子

石鹼玉やさしい風へむけて吹く

埼玉県川越市 吉野 敬子

難解な本の行間日の永き

埼玉県川越市 小川 房子

投句総数 六十八句

開函日 令和八年四月三十日

第六十二回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「櫛」主宰 江崎 紀和子 選

俳句のまちあらかわ賞

紺の服余寒のひかり溜めてをり

東京都荒川区 谷井 千絵

特選三句

日脚伸ぶまた子の上る滑り台

東京都足立区 山崎 董久

風車まわらぬほうが品の良し

東京都荒川区 町田 美幸

朝刊の折り目に余寒ひとり旅

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 二十九句

開函日 令和八年四月三十日